

平成16年度当初予算案
主要事項説明資料

【府民の安心・安全の確保】

＜食の安心・安全を守る＞

共 通

主要事項説明目次

【府民の安心・安全の確保】

〈食の安心・安全を守る〉

頁	事業名	担当部局
1	食の安心・安全確保事業費	保健福祉部
2	保健所機能強化費	保健福祉部
3	家畜保健衛生所機能強化費	農林水産部
4	京都環境こだわり米(仮称)導入支援事業費	農林水産部
5	京野菜こだわりプロジェクト推進事業費	農林水産部
6	牛肉トレーサビリティシステム推進事業費	農林水産部
7	牛海綿状脳症(BSE)対策費	保健福祉部・農林水産部
8	くらしの安心ネットワーク事業費	商工部

平成16年度 当初予算案主要事項説明

保健福祉部

事業名	< 食の安心・安全を守る > 食の安心・安全確保事業費																		
予算額	10,000 千円	新規・継続の別	継続																
事業内容 (目的 対象 方法等)	<p>1 目的 食品の表示違反問題や残留農薬問題、ダイエット食品による健康被害の発生など、消費者の食品に対する不安・不信が高まっている中、今年度も引続き府民に「食」に関する正しい情報を迅速に提供するとともに、「京の食“安全見はり番”」の増員による監視指導を強化する。 さらに、平成16年度においては、保健所再編による機能強化のため、より一層の監視指導・検査の充実を図り、消費者の不安・不信を解消するとともに、「食の安心・安全」を確保する。</p> <p>2 事業概要</p> <table border="1" data-bbox="416 887 1434 1821"> <thead> <tr> <th data-bbox="416 887 691 958">区 分</th> <th data-bbox="691 887 1434 958">事 業 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" data-bbox="416 958 1434 1021">▶ 消費者の視点に立った食品の安全確保の推進</td> </tr> <tr> <td data-bbox="416 1021 691 1167">食の安心・安全ホームページの運営</td> <td data-bbox="691 1021 1434 1167">「食」の安心・安全についての情報をスピーディに分かりやすく府民に提供する「京の食“安心かわら版”」の充実</td> </tr> <tr> <td data-bbox="416 1167 691 1335">意見交換会の開催</td> <td data-bbox="691 1167 1434 1335">消費者、生産者、事業者、行政等関係者が、共に食の安全について考え、意見・情報交換を行うことにより、食の安全に関する認識、相互理解を深めるとともに、今後の取組施策に反映</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="416 1335 1434 1397">▶ 食の安全管理及び監視体制の充実強化</td> </tr> <tr> <td data-bbox="416 1397 691 1615">食品衛生推進員の増員による監視指導強化</td> <td data-bbox="691 1397 1434 1615">消費者からの食に関する相談に応じるとともに、食品店舗を巡回し、食中毒予防啓発や食品の誤表示の防止、衛生管理に関する助言・相談などを行う「京の食“安全見はり番”」の増員(65人→100人)による監視指導強化</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="416 1615 1434 1677">▶ 緊急時の対応、危機管理体制の整備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="416 1677 691 1821">庁内連絡調整会議の開催</td> <td data-bbox="691 1677 1434 1821">食の安心・安全確保の推進と食品事件・事故等への迅速な対応を図るため、関係部局からなる庁内連絡調整会議を引続き開催</td> </tr> </tbody> </table>			区 分	事 業 内 容	▶ 消費者の視点に立った食品の安全確保の推進		食の安心・安全ホームページの運営	「食」の安心・安全についての情報をスピーディに分かりやすく府民に提供する「京の食“安心かわら版”」の充実	意見交換会の開催	消費者、生産者、事業者、行政等関係者が、共に食の安全について考え、意見・情報交換を行うことにより、食の安全に関する認識、相互理解を深めるとともに、今後の取組施策に反映	▶ 食の安全管理及び監視体制の充実強化		食品衛生推進員の増員による監視指導強化	消費者からの食に関する相談に応じるとともに、食品店舗を巡回し、食中毒予防啓発や食品の誤表示の防止、衛生管理に関する助言・相談などを行う「京の食“安全見はり番”」の増員(65人→100人)による監視指導強化	▶ 緊急時の対応、危機管理体制の整備		庁内連絡調整会議の開催	食の安心・安全確保の推進と食品事件・事故等への迅速な対応を図るため、関係部局からなる庁内連絡調整会議を引続き開催
区 分	事 業 内 容																		
▶ 消費者の視点に立った食品の安全確保の推進																			
食の安心・安全ホームページの運営	「食」の安心・安全についての情報をスピーディに分かりやすく府民に提供する「京の食“安心かわら版”」の充実																		
意見交換会の開催	消費者、生産者、事業者、行政等関係者が、共に食の安全について考え、意見・情報交換を行うことにより、食の安全に関する認識、相互理解を深めるとともに、今後の取組施策に反映																		
▶ 食の安全管理及び監視体制の充実強化																			
食品衛生推進員の増員による監視指導強化	消費者からの食に関する相談に応じるとともに、食品店舗を巡回し、食中毒予防啓発や食品の誤表示の防止、衛生管理に関する助言・相談などを行う「京の食“安全見はり番”」の増員(65人→100人)による監視指導強化																		
▶ 緊急時の対応、危機管理体制の整備																			
庁内連絡調整会議の開催	食の安心・安全確保の推進と食品事件・事故等への迅速な対応を図るため、関係部局からなる庁内連絡調整会議を引続き開催																		
担当課・係名	生活衛生課 食品衛生係	課・係 電話番号	075-414-4759																

平成16年度 当初予算案主要事項説明

保健福祉部

<p>事業名</p>	<p><食の安心・安全を守る> 保健所機能強化費</p>															
<p>予算額</p>	<p>98,700千円</p>	<p>新規・継続の別</p>	<p>新規</p>													
<p>事業内容</p> <p>目的 対象 方法等</p>	<p>1 趣 旨</p> <p>検査機能の高度化により、効率的で現地・現場主義の観点に立った迅速な対応ができる体制を整備する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>拠点保健所の試験検査体制について、現行の試験検査機能に加え、細菌ウイルス等の検査機器整備をはじめ、既存検査機器の更新・移設経費や検査室を改修し、検査機能の高度・迅速化を図る。</p> <table border="1" data-bbox="448 1093 1414 1541"> <thead> <tr> <th>該当保健所</th> <th>整備内容</th> <th>所要額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>山城北(宇 治)</td> <td rowspan="3">各拠点保健所において食中毒の原因菌の特定等が可能となるよう細菌・ウイルス検査機器を整備するほか、検査室の改修時に換気施設等の整備、検査機器の移設及び既存機器の更新を行い検査機能の高度・迅速化を図る。</td> <td>17,000千円</td> </tr> <tr> <td>南 丹(園 部)</td> <td>10,000千円</td> </tr> <tr> <td>中丹東(福知山)</td> <td>61,700千円</td> </tr> <tr> <td>そ の 他</td> <td>X線機器等移設</td> <td>10,000千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 事業効果</p> <p>① 身近な保健所で、検査結果に基づく迅速な対応が可能</p> <p>② 高度検査機能の分散整備</p>			該当保健所	整備内容	所要額	山城北(宇 治)	各拠点保健所において食中毒の原因菌の特定等が可能となるよう細菌・ウイルス検査機器を整備するほか、検査室の改修時に換気施設等の整備、検査機器の移設及び既存機器の更新を行い検査機能の高度・迅速化を図る。	17,000千円	南 丹(園 部)	10,000千円	中丹東(福知山)	61,700千円	そ の 他	X線機器等移設	10,000千円
該当保健所	整備内容	所要額														
山城北(宇 治)	各拠点保健所において食中毒の原因菌の特定等が可能となるよう細菌・ウイルス検査機器を整備するほか、検査室の改修時に換気施設等の整備、検査機器の移設及び既存機器の更新を行い検査機能の高度・迅速化を図る。	17,000千円														
南 丹(園 部)		10,000千円														
中丹東(福知山)		61,700千円														
そ の 他	X線機器等移設	10,000千円														
<p>担当課・係名</p>	<p>保健福祉総務課 総務担当</p>	<p>課・係電話番号</p>	<p>075-414-4699</p>													

平成16年度 当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	<食の安心・安全を守る> 家畜保健衛生所機能強化費		
予算額	106,000千円	新規・継続の別	新規
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>BSEや鳥インフルエンザの発生等を発端として、府民の食品の安全性への関心がかつてないほどに高まっている中、消費者へ安心・安全な畜産物を供給するためには、複雑・多様化、国際化する家畜疾病に的確に対応し得る家畜保健衛生所の検査機能・指導体制を充実する必要がある。</p> <p>このため、新たに畜産主産地の北部地域に高度な機能を有する家畜保健衛生所を整備し、食の安心・安全対策を強化する。</p> <p>2 事業主体</p> <p>京都府</p> <p>3 事業概要</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>用地取得・造成費</p> <p>(2) 設置場所</p> <p>福知山市内</p> <p>(参考)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設予定時期 平成16年度～平成17年度 ・施設概要 本館、解剖室、焼却炉、防疫倉庫等 		
担当課・係名	畜産課 家畜衛生係	課・係 電話番号	075-414-4985

平成16年度 当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	<食の安心・安全を守る> 京都環境こだわり米（仮称）導入支援事業費 （京の水田農業確立支援事業費）		
予算額	20,000千円	新規・継続の別	新規
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>新たな米政策の下では、生産者の主体的な判断を重視して米の需給調整に取り組まれることになるため、米価下落や米の産地間競争の激化等が懸念される。</p> <p>そこで「京都環境こだわり米（仮称）」の栽培による市場競争力のある府内産米の生産・販売対策の強化や、黒大豆・小豆等、地域特産物の省力機械化生産を重点的に進める。</p> <p>※「京都環境こだわり米（仮称）」：減農薬、減化学肥料など、環境、安心・安全へのこだわりを実現する栽培方法により生産される米</p> <p>2 事業概要</p> <p>○条件整備事業 「京都環境こだわり米（仮称）」栽培に必要なハード整備 17,000千円</p> <p>○実証活動事業 「京都環境こだわり米（仮称）」導入に必要な検討会、現地実証 3,000千円</p> <p>3 実施主体 集落等営農組織、JA、市町村協議会等</p> <p>4 事業実施期間 平成16年度～18年度（3年間）</p>		
担当課・係名	農産流通課 農産係	課・係電話番号	075-414-4955

平成16年度 当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	<食の安心・安全を守る> 京野菜こだわりプロジェクト推進事業費																				
予算額	246,847千円	新規・継続の別	継 続 (一部新規)																		
事業内容 (目的 対象 方法等)	<p>1 趣 旨</p> <p>京都らしい環境にやさしい農業への取組や、栽培方法等に係る情報の提供等を要件とした独自の新たな認証により、消費者等への信頼感を向上させ、ブランド京野菜の付加価値を高める。</p> <p>2 事業内容</p> <table border="1" data-bbox="376 1032 1453 1850"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> <th>⑯予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>京野菜こだわり 土づくり支援事業</td> <td>○地域の有機性資源循環利用促進や土づくり効果の展示ほ設置等に対する支援</td> <td>5,000</td> </tr> <tr> <td>京野菜こだわり技術 の実証、研究、普及事業</td> <td>○土づくりの普及・啓発(土づくりコンクールの実施等) ○環境にやさしい農業技術の実証・普及 ○環境にやさしい農業技術の研究・開発</td> <td>千円 10,800</td> </tr> <tr> <td>京野菜こだわり 産地支援事業</td> <td>○京都こだわり農法の導入活動支援 ○京都こだわり農法実践条件整備支援</td> <td>182,726</td> </tr> <tr> <td>京 都 こ だ わ り 生 産 認 証 事 業</td> <td>○京都こだわり農法に基づき生産されたブランド京野菜等を認証するシステムの運営</td> <td>14,000</td> </tr> <tr> <td>トレサビリティシステム 導入促進対策事業</td> <td>○生産履歴の開示システムをIT化し、情報開示が速やかに行えるトレサビリティシステムの導入に対する支援</td> <td>34,321</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	事業内容	⑯予算額	京野菜こだわり 土づくり支援事業	○地域の有機性資源循環利用促進や土づくり効果の展示ほ設置等に対する支援	5,000	京野菜こだわり技術 の実証、研究、普及事業	○土づくりの普及・啓発(土づくりコンクールの実施等) ○環境にやさしい農業技術の実証・普及 ○環境にやさしい農業技術の研究・開発	千円 10,800	京野菜こだわり 産地支援事業	○京都こだわり農法の導入活動支援 ○京都こだわり農法実践条件整備支援	182,726	京 都 こ だ わ り 生 産 認 証 事 業	○京都こだわり農法に基づき生産されたブランド京野菜等を認証するシステムの運営	14,000	トレサビリティシステム 導入促進対策事業	○生産履歴の開示システムをIT化し、情報開示が速やかに行えるトレサビリティシステムの導入に対する支援	34,321
事業名	事業内容	⑯予算額																			
京野菜こだわり 土づくり支援事業	○地域の有機性資源循環利用促進や土づくり効果の展示ほ設置等に対する支援	5,000																			
京野菜こだわり技術 の実証、研究、普及事業	○土づくりの普及・啓発(土づくりコンクールの実施等) ○環境にやさしい農業技術の実証・普及 ○環境にやさしい農業技術の研究・開発	千円 10,800																			
京野菜こだわり 産地支援事業	○京都こだわり農法の導入活動支援 ○京都こだわり農法実践条件整備支援	182,726																			
京 都 こ だ わ り 生 産 認 証 事 業	○京都こだわり農法に基づき生産されたブランド京野菜等を認証するシステムの運営	14,000																			
トレサビリティシステム 導入促進対策事業	○生産履歴の開示システムをIT化し、情報開示が速やかに行えるトレサビリティシステムの導入に対する支援	34,321																			
担当課名	農産流通課 野菜花き係 環境保全係	課 係 電 話 番 号	075-414-4944 4967																		

平成16年度 当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	<食の安心・安全を守る> 牛肉トレーサビリティシステム推進事業費		
予算額	4,000千円	新規・継続の別	継続
事業内容	1 趣 旨 BSEの発生や牛肉の表示問題等により、畜産物の生産から流通・消費にわたる各種情報の提供が求められていることから、平成15年度に引き続き、国が構築する牛の履歴や産地等の情報を消費者に提供するシステムに加え、飼料給与等の付加価値情報をモデル的に提供するシステムに支援する。		
目的	2 推進主体 京都府、生産者団体等		
対象	3 事業概要 (1) 農家指導（個体識別耳標装着・異動報告、飼料給与等の記帳） (2) 消費者への飼料給与等付加価値情報提供のモデル実施に係る支援		
方法等			
担当課・係名	畜産課 畜産係	課・係電話番号	075-414-4985

平成16年度 当初予算案主要事項説明

保健福祉部
農林水産部

事業名	<食の安心・安全を守る> 牛海綿状脳症（BSE）対策費																							
予算額	54,400千円	新規・継続の別	継続																					
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨 食肉センターで食肉処理される全ての牛及び農場段階での牛海綿状脳症を疑う牛等を対象に牛海綿状脳症の検査を実施することにより、食肉の安全性を確保するとともに、府民の不安解消を図る。</p> <p>2 事業内容</p> <table border="1" data-bbox="408 936 1449 1845"> <tr> <td>検査機関</td> <td>中丹西保健所</td> <td>各家畜保健衛生所</td> </tr> <tr> <td>検査場所</td> <td>中丹西保健所 亀岡市食肉センター</td> <td>各家畜保健衛生所</td> </tr> <tr> <td>対象牛</td> <td>食肉処理される全ての牛</td> <td>牛海綿状脳症を疑う牛等</td> </tr> <tr> <td>検査方法</td> <td>エライザ法（専用検査機器による異常プリオンの有無を識別）</td> <td>解剖及びサンプリング（各家畜保健衛生所） エライザ法（専用検査機器による異常プリオンの識別）を含む病性鑑定（中央家畜保健衛生所）</td> </tr> <tr> <td>検査開始</td> <td>平成13年10月18日（木）から （※全国一斉実施）</td> <td>同 左</td> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>47,000千円</td> <td>7,400千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td colspan="2">相談窓口の設置（生活衛生課内・畜産課内）</td> </tr> </table>			検査機関	中丹西保健所	各家畜保健衛生所	検査場所	中丹西保健所 亀岡市食肉センター	各家畜保健衛生所	対象牛	食肉処理される全ての牛	牛海綿状脳症を疑う牛等	検査方法	エライザ法（専用検査機器による異常プリオンの有無を識別）	解剖及びサンプリング（各家畜保健衛生所） エライザ法（専用検査機器による異常プリオンの識別）を含む病性鑑定（中央家畜保健衛生所）	検査開始	平成13年10月18日（木）から （※全国一斉実施）	同 左	予算額	47,000千円	7,400千円	その他	相談窓口の設置（生活衛生課内・畜産課内）	
検査機関	中丹西保健所	各家畜保健衛生所																						
検査場所	中丹西保健所 亀岡市食肉センター	各家畜保健衛生所																						
対象牛	食肉処理される全ての牛	牛海綿状脳症を疑う牛等																						
検査方法	エライザ法（専用検査機器による異常プリオンの有無を識別）	解剖及びサンプリング（各家畜保健衛生所） エライザ法（専用検査機器による異常プリオンの識別）を含む病性鑑定（中央家畜保健衛生所）																						
検査開始	平成13年10月18日（木）から （※全国一斉実施）	同 左																						
予算額	47,000千円	7,400千円																						
その他	相談窓口の設置（生活衛生課内・畜産課内）																							
担当課・係名	生活衛生課 畜産課	食品衛生係 家畜衛生係	庁内電話番号 4759 4985																					

平成16年度 当初予算案主要事項説明

商 工 部

事業名	<食の安心・安全を守る> くらしの安心ネットワーク事業費		
予算額	1,000千円	新規・継続の別	新規
事業内容 (目的 対象 方法等)	<p>1 目 的</p> <p>広域化・複雑高度化する消費者問題への迅速な対応を図るため、府民参画による消費者情報の収集力を強化し、ネットワークを形成するとともに、事後チェック機能を高めることにより、安心できる消費生活を実現する。</p> <p>2 内 容</p> <p>広域振興局を中心に、くらしの安心推進員と関係機関との新たなネットワークを形成することにより、情報収集の強化を図るとともに、安心できる地域の消費生活を推進。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 一般公募によるくらしの安心推進員 100名を設置(京都市を除く) ○ 不当な広告や食品表示、悪質な勧誘行為等について、推進員から行政への情報提供。 ○ 関心の高い新たな消費者問題等について、アンケートを実施し、消費者施策に反映させる。 		
担当課・係名	消費生活課 指導係	課・係電話番号	075-414-4866